



大東小学校だより

5 月 号
令和4年5月2日

あいさつとは、自分の心を開くこと

新緑の季節を迎え、校庭の木々の若葉が瑞々しく感じられます。入学して一か月経ち、1年生も学校生活にずいぶん慣れてきました。毎朝、正門前で立哨していると、1年生の子どもたちが元気な声で「おはよう」のあいさつを返してくれます。入学式の式辞で「命を大切にすること」と「元気のよいあいさつをすること」の二つを大切にしてほしいと話しましたが、その一つを実践してくれていて、とても嬉しく思います。

あいさつとは、「自分の心を開くこと。自分からあいさつをすることで相手の心を開かせ相手の心に近づいていく行為」と言われます。コロナ禍のため、大きな声を出すことは控えながらも、マスク越しに笑顔で会釈をする子も多くいます。あいさつは、人と人とが関係をつくっていくための大切なものです。これからも、元気のよいあいさつの響く学校であることを願っています。

校長 池山 祐子

◎令和4年度 前期児童会役員・委員長・学級委員・代表委員 を紹介します。

.....個人情報のため、HPには掲載を控えさせていただきます。.....

【「学年だより」の発行について】

これまで、各学年より発行しておりました「学年だより」は、5月より「学校だより」にまとめて掲載させていただくことになりました。お伝えする内容が多い場合には、臨時で学年だよりを発行しますので、よろしくお願いいたします。